

# 花巻市博物館開館20周年記念特別展

## 「縄文ワールドー写真家・小川忠博の世界ー」

～10月19日から1月13日まで開催～



写真家・小川忠博氏（1942～）は、雑誌の写真取材のかたわら、40年近く全国各地で縄文写真を撮り続けてきました。縄文土器の周囲360度の文様を一画面におさめた代表作「展開写真」など、小川氏が写し出した縄文の世界は、日本の考古学のみならず、美術研究にも新たな視点をもたらしました。さらに、写真集『縄文美術館』『土偶美術館』等の書籍となり、私たちに土器や土偶を生み出した縄文人の生活・社会を生き生きと見せています。本展では、小川氏の縄文写真コレクションから最新作を含む、土偶や土器展開写真を中心とする厳選した作品と、岩手県内の出土品を併せて展示します。学術調査・研究や標本写真とは違う視点で撮影された縄文の多彩で力強く、創造力あふれる表現と造形美をご堪能ください。

### 特別展の概要

- 開催期間 10月19日（土）から令和7年1月13日（月・祝）まで  
午前8時30分から午後4時30分まで  
※休館日：12月28日（土）から令和7年1月1日（水）まで
- 開催場所 花巻市博物館 企画展示室
- 入館料 通常料金で入館できます。  
一般350円／高校生・学生250円／小・中学生150円  
※20名以上の団体は上記金額から50円引きとなります。
- 展示内容 全国各地で撮影された縄文写真コレクションの中から、土偶や土器展開写真を中心に厳選した最新作を含む170点の作品を展示します。併せて、被写体となった岩手県内出土品53点や花巻の縄文遺跡について出土品約120点を交えて紹介します。

#### ★土器展開写真

土器の文様を一画面におさめた展開写真を幅6～8m、高さ2.8mのダイナミックなサイズで展示します。不思議で美しい迫力ある縄文土器の文様をお楽しみください。



展開写真 展示風景（於 山梨県立美術館2022年）

#### ー小川忠博ー

1942年東京生まれ。1965年早稲田大学卒業。フリーカメラマン。週刊誌、月刊誌の取材のかたわら、各種スリットカメラなどを開発し、美術、考古分野に新しい視点を提供する。準太陽賞、準朝日広告賞を受賞。2010年には文化庁長官表彰を受ける。著書に『森と精霊と戦士たちーギニア・ビザウ、モザンビーク、アンゴラ解放戦闘写真記録』（亜紀書房）、『縄文土器大観』全4巻（小学館）、『りんご、だんだん』『はっこうー地球は微生物でいっぱい』（以上、あすなろ書房）、『展開写真による 中国の文様』『新版縄文美術館』『土偶美術館』（以上、平凡社）ほか。

### 関連イベント

#### ◆Specialギャラリートーク

本展の展示監修者である写真家・小川忠博氏を講師にお招きし、縄文写真撮影エピソードのお話や展示解説を行います。

講師：小川忠博氏（写真家）  
日時：10月19日（土）13時30分～15時 場所：講座体験学習室 定員：50名

#### ◆記念講演会「縄文土偶のはなしーその多様な世界ー」

小川忠博氏の写真集『土偶美術館』（平凡社）監修者の原田昌幸氏を講師にお招きし、ご講演いただきます。

講師：原田昌幸氏（國學院大學兼任講師、元文化庁主任文化財調査官）  
日時：11月24日（日）13時30分～15時 場所：講座体験学習室 定員：50名



土偶（青森県近野遺跡）  
青森県埋蔵文化財調査センター所蔵

【申込方法】 ●右記の申込フォームまたは☎32-1030（花巻市博物館）までお申込みください。

●申し込みは開催日の1か月前から可能です。



ギャラリートーク  
申し込み



記念講演会  
申し込み